

知財の広場

びわこ知財塾のすすめ

滋賀県発明協会では、6月26日から今年度の「びわこ知財塾」を開催しました。今年度は6回の開催で、随時参加を募集しています。

今回、第1回のびわこ知財塾の参加者への知財総合支援窓口事業の周知のため参加させていただきました。私は参加して、知財担当者として、経営者として参考になる部分が多々あったと感じたので紹介します。

1. 「びわこ知財塾」の効果

■知財担当者として

・学ぶ・考える・知る・見つける・つながる

滋賀県の中小企業等の知財担当者が気軽に集まり、担当者自身が知財スキルの向上を図ることや知財実務の悩みや効率化などの共有・情報交換を通じて、塾生同志がお互いに磨きあうことができるコミュニティの場を継続的に提供します。

■経営者として

・無形資産(社員・ノウハウ等)の強化

塾生の知財スキルが向上することで、経営にとっては、事業につながる知財のリスク、知財権を発見・取得することが意識でき、延いては他社との差別化要素の見える化が図れる。

2. 知財塾の内容等

■特色

通常のセミナーと違って、コーディネータのもと、塾生が日ごろの課題、いいところを明らかにし、他の塾生との知識の共有、自身の業務の進め方、業務の経営への効果等の新たな発見や学びをし、そして仲間づくりをする参加型の塾

■今回の内容

1. 自己紹介

企画側、塾生が自身の業務スタイル、職歴等を紹介

2. 塾の趣旨説明

3. 意見交換:「発明発掘」について

一般的な事業の流れのステップと知財のかかわり方をコーディネータが説明後、そのうちの「発明発掘」をキーワードに、どんなタイミングで、どんな方法で、誰がするのかについての意見交換

随時参加者募集中！